

平成23年度第14回公立大学法人熊本県立大学教育研究会議 議事録

日 時：平成24年3月13日（火）14時30分～15時40分

場 所：熊本県立大学 本部棟2階 大会議室

出 席：学長 古賀 実
副学長 半藤 英明
事務局長 益田 和弘
文学部長 山田 俊
環境共生学部長 有菌 幸司
総合管理学部長 三浦 章
学術情報メディアセンター長 津曲 隆
アドミニストレーション研究科長 黄 在南
前熊本近代文学館館長 河原畑 廣
昭和女子大学教授 渡辺 満利子
地域連携センター長 篠原 亮太

欠 席：熊本県公立高等学校長会会長 森塚 利徳

事務局：渡辺事務局次長、林田教務入試課長、高橋学生支援課長、馬場総務課長、田中
学術情報メディアセンター事務長、枝國地域連携センター事務長、教務入試課元島班長、同課西
本主幹、企画調整室林主幹

1 開会（進行：渡辺次長）

2 学長挨拶

3 議事（議長：古賀学長）

（1）審議事項

① 平成24年度年度計画（案）について

事務局企画調整室から、資料1に基づき、平成24年度年度計画（案）のうち、大学の教育研究に関する年度計画案の主な項目について説明があった。

審議の結果、委員から意見があった中期計画（13）管理栄養士国家試験への対応に係る年度計画について、修正を行うこととし、それ以外の項目については、案のとおり承認した。

② キャップ制の導入について

事務局教務入試課から、資料2に基づき、「平成24年度から文学部を対象にキャップ制を導入する。対象年次は1～3年次。上限単位数は各年次44単位とし、キャップ制除外科目を資料のとおり設定する。キャップ制の導入に伴い、熊本県立大学履修規程について所要の改正を行う。」との説明があった。

審議の結果、キャップ制の導入について、案のとおり承認した。

③ 教職課程に係る中央教育審議会実地視察指摘事項への対応について

事務局教務入試課から、資料3に基づき、「平成23年6月21日に実施された中央教育審議会による教職課程認定大学実地視察時に指摘を受けた事項について対応案をとりまとめた。主な指摘事項及び対応案としては、教職に関する科目について、学部ごとに規定されていたものを全学共通科目とする、教科に関する科目について、一部課程で学科科目開設の取り扱いを変更する、教科又は教職に関する科目について、日本語教育に関する科目についての位置づけを見直すもの。今回の対応に伴い、大学学則及び熊本県立大学履修規程について所要の改正を行う。」との説明があった。

審議の結果、教職課程に係る中央教育審議会実地視察指摘事項への対応について、案のとおり承認した。

④ 大学院編入学、転入学及び再入学について

事務局教務入試課から、資料4に基づき、「本学大学院においては、現行規定では、編入学の希望があった場合、編入学試験を実施し、入学を許可できることとなっており、今年度、大学院編入学志望の申し出があった。しかし、他大学の状況を調査したところ、5年間の一貫課程を有する大学以外では、編入学を行っている事例が見当たらないこと、また、文学研究科の博士後期課程の設置申請時に文部科学省から大学院における編入学は博士一貫課程を除き適当でない旨の指示を受けていたため、大学院編入学、転入学及び再入学に係る実施方針について検討を行った。その結果、編入学及び転入学を廃止、また、再入学については出願資格の明確化、入学前の既修得単位の認定についての見直しを行うこととした。また、これらの見直しに伴い、大学院学則及び熊本県立大学大学院編入学等に関する規程について所要の改正を行う。」との説明があった。

審議の結果、大学院編入学、転入学及び再入学について、案のとおり承認した。

⑤ 平成24年度非常勤講師の採用について

事務局教務入試課から、資料5に基づき、平成24年度非常勤講師採用について、第10回教育研究会議（平成24年1月23日開催）時点で未定であったもの、常勤講師の退職等に伴うもの等について採用案の説明があった。

審議の結果、平成24年度非常勤講師の採用について、案のとおり承認した。

4 その他

次回日程

第15回会議 平成24年3月21日（水）午前11時～

5 閉会